

中医協・診療報酬改定結果検証部会  
「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」  
に対する日本医師会の見解

定例記者会見

2009年4月22日  
社団法人 日本医師会

中医協・診療報酬改定結果検証部会が、2008年12月～2009年1月に、「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」を行った。一方、日本医師会は、2008年11月に「外来管理加算に関するアンケート調査」を実施した。

検証部会調査は、日本医師会調査に比べて、回収率が低い。特に診療所の回収数は日本医師会調査の1/3に止まっている。

	中医協・検証部会		日本医師会	
	「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」 2008年12月～2009年1月実施		「外来管理加算に関するアンケート調査」 2008年11月実施	
	有効回収数	有効回収率	回答数	回答率
病院	486	32.4%	226	45.3%
診療所	585	29.3%	1,744	45.4%
患者	1,933	—	未実施	

## 診察や説明の変化

回答を「あてはまる」と「あてはまらない」に大別すると、「より詳細な身体診察等」は「あてはまらない」が多い。「患者へのわかりやすい丁寧な説明」も診療所では「あてはまらない」が多い。

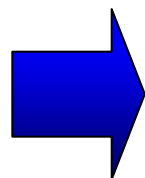
### 中医協・診療報酬検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」

#### (1) より詳細に身体診察等を行うようになった

	大いに あてはまる ①	やや あてはまる ②	どちらとも いえない	あまりあて はまらない ③	全くあては まらない ④	無回答	①+②	③+④
病院	2.1%	22.0%	43.3%	18.8%	12.6%	1.3%	24.1%	31.4%
診療所	3.7%	16.9%	33.9%	18.3%	23.2%	4.1%	20.6%	41.5%

#### (2) 患者に説明をよりわかりやすく、丁寧に行うようになった

	大いに あてはまる ①	やや あてはまる ②	どちらとも いえない	あまりあて はまらない ③	全くあては まらない ④	無回答	①+②	③+④
病院	3.6%	30.7%	36.7%	17.3%	10.9%	0.9%	34.3%	28.2%
診療所	5.6%	20.2%	30.7%	17.5%	21.6%	4.3%	25.8%	39.1%



意義付けの見直しが、医師の診察、説明に与えた影響は必ずしも大きくない。「あてはまらない」という回答が多いのは、従来から詳細な診察や丁寧な説明を行っていたためとも推察される。

## 患者の理解度などの変化

「患者の理解度が高まった」「患者の不安を汲み取るようになった」も「あてはまらない」との回答が多い。

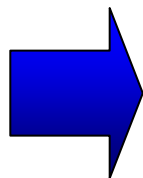
### 中医協・診療報酬検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」

#### (3) 症状や説明内容に対する患者の理解度が高まった

	大いに あてはまる ①	やや あてはまる ②	どちらとも いえない	あまりあて はまらない ③	全くあては まらない ④	無回答	①+②	③+④
病院	3.0%	15.8%	52.9%	16.8%	10.7%	0.9%	18.8%	27.5%
診療所	4.1%	9.3%	45.1%	15.8%	21.0%	4.7%	13.4%	36.8%

#### (4) 患者の疑問や不安を汲み取るようになった

	大いに あてはまる ①	やや あてはまる ②	どちらとも いえない	あまりあて はまらない ③	全くあては まらない ④	無回答	①+②	③+④
病院	2.1%	19.2%	48.8%	16.6%	11.5%	1.7%	21.3%	28.1%
診療所	2.5%	16.5%	36.4%	17.7%	22.2%	4.7%	19.0%	39.9%



意義付けの見直しによって、患者の理解度が高まったとまでは断定できない結果であった。また「あてはまらない」という回答が多いのは、以前から、患者の疑問や不安を汲み取っており、変化がないためとも推察される。

## 患者調査 診療に対する満足度等

診療内容についての満足度は「算定あり」で、「とても満足」がやや多いが、「算定なし」と大きな違いはなかった。また「算定なし」で、診察時間が「短すぎる」という回答はほとんどなかった。

中医協・診療報酬改定結果検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」患者調査

### 診察内容に対する満足度

	とても満足 している ①	満足して いる ②	どちらとも いえない	不満である ③	とても不満 である ④	無回答	満足 ①+②	不満 ③+④
算定あり	23.9%	63.3%	10.5%	0.2%	0.1%	2.0%	87.2%	0.3%
算定なし	18.7%	64.5%	12.7%	0.5%	0.1%	3.5%	83.2%	0.6%

### 診察時間の長さに対する評価

	長すぎる ①	長い ②	ちょうどよい	短い ③	短すぎる ④	無回答	長い ①+②	短い ③+④
算定あり	1.9%	5.5%	85.6%	4.6%	0.4%	1.9%	7.4%	5.0%
算定なし	1.0%	4.8%	87.0%	3.5%	0.5%	3.2%	5.8%	4.0%

患者の満足度は時間(算定あり・なし)には影響されていないようであった。逆に、算定なし(5分以下)であっても、診療内容や診察時間への評価は高かった。

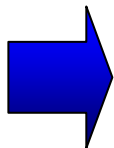
## 患者調査 4月以降の診療内容の変化

外来管理加算の「算定あり・なし」の違いは見られなかった。また、「丁寧ではない」「わかりにくい」という回答自体がほとんどなかった。

中医協・診療報酬検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」患者調査

### ③ 4月以降の診察内容の変化

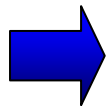
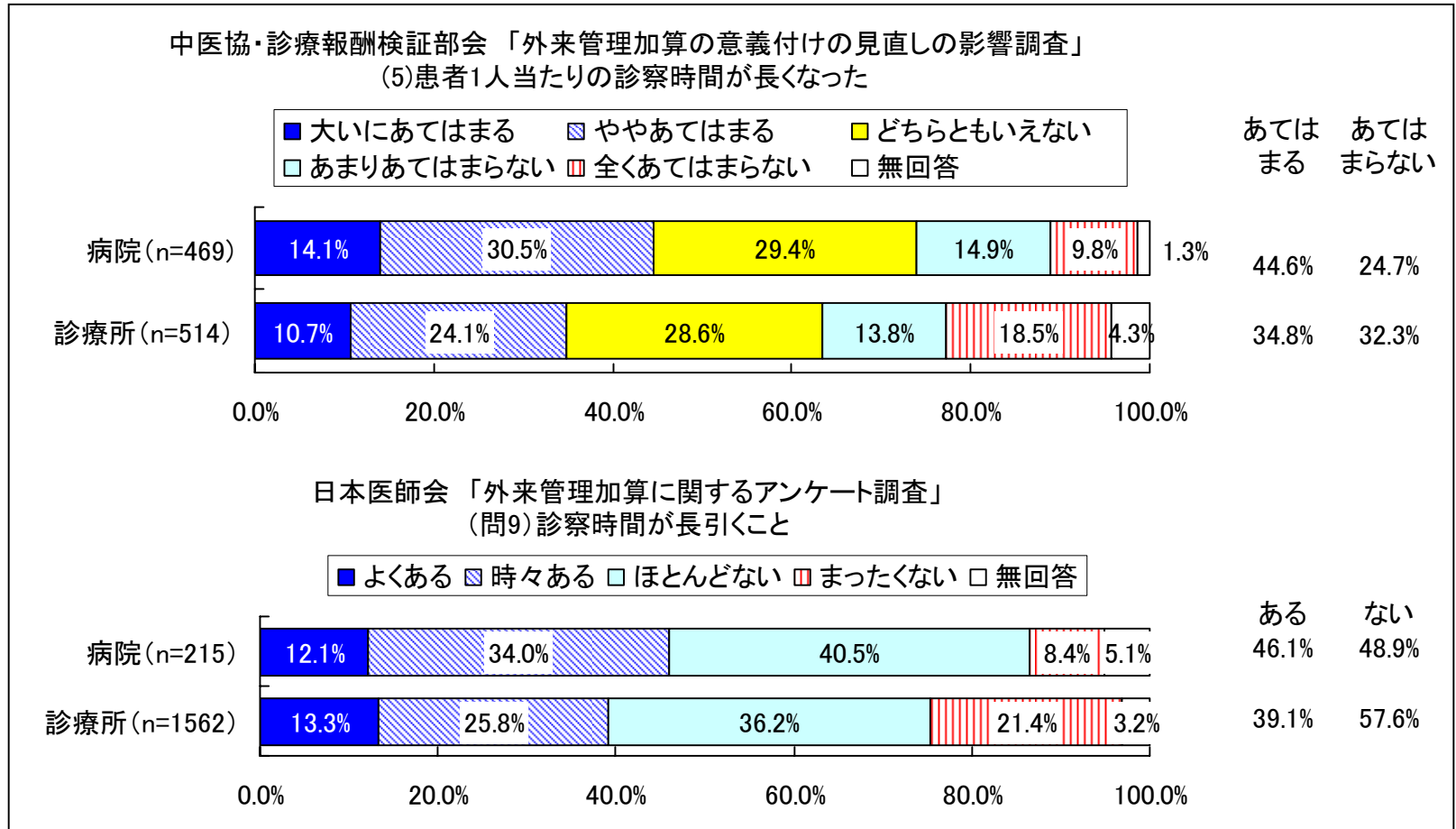
		3月以前よりも丁寧・わかりやすい ①	3月以前と変わらず丁寧・わかりやすい ②	3月以前と変わらず丁寧ではない・わかりにくい ③	3月以前よりも丁寧ではない・わかりにくい ④	無回答	①+②	③+④
問診・身体診察	算定あり	5.5%	89.9%	1.8%	0.7%	2.2%	95.4%	2.5%
	算定なし	5.7%	89.9%	2.6%	0.8%	1.0%	95.6%	3.4%
症状・状態についての 医師からの説明	算定あり	8.0%	87.9%	2.0%	0.0%	2.2%	95.9%	2.0%
	算定なし	8.0%	87.6%	2.6%	0.5%	1.3%	95.6%	3.1%
今後の治療方針・生活上の 注意や指導についての 医師からの説明	算定あり	7.6%	86.9%	2.0%	0.0%	3.5%	94.5%	2.0%
	算定なし	6.5%	87.6%	3.1%	0.8%	2.1%	94.1%	3.9%
処方された薬についての 説明	算定あり	6.8%	87.0%	1.7%	0.2%	4.3%	93.8%	1.9%
	算定なし	6.0%	87.3%	2.8%	0.0%	3.9%	93.3%	2.8%



医師は、5分という時間要件にかかわらず、以前から丁寧な診察や説明をしており、そのため「算定あり・なし」での違いが見られないのではないかと推察される。

## 診察時間

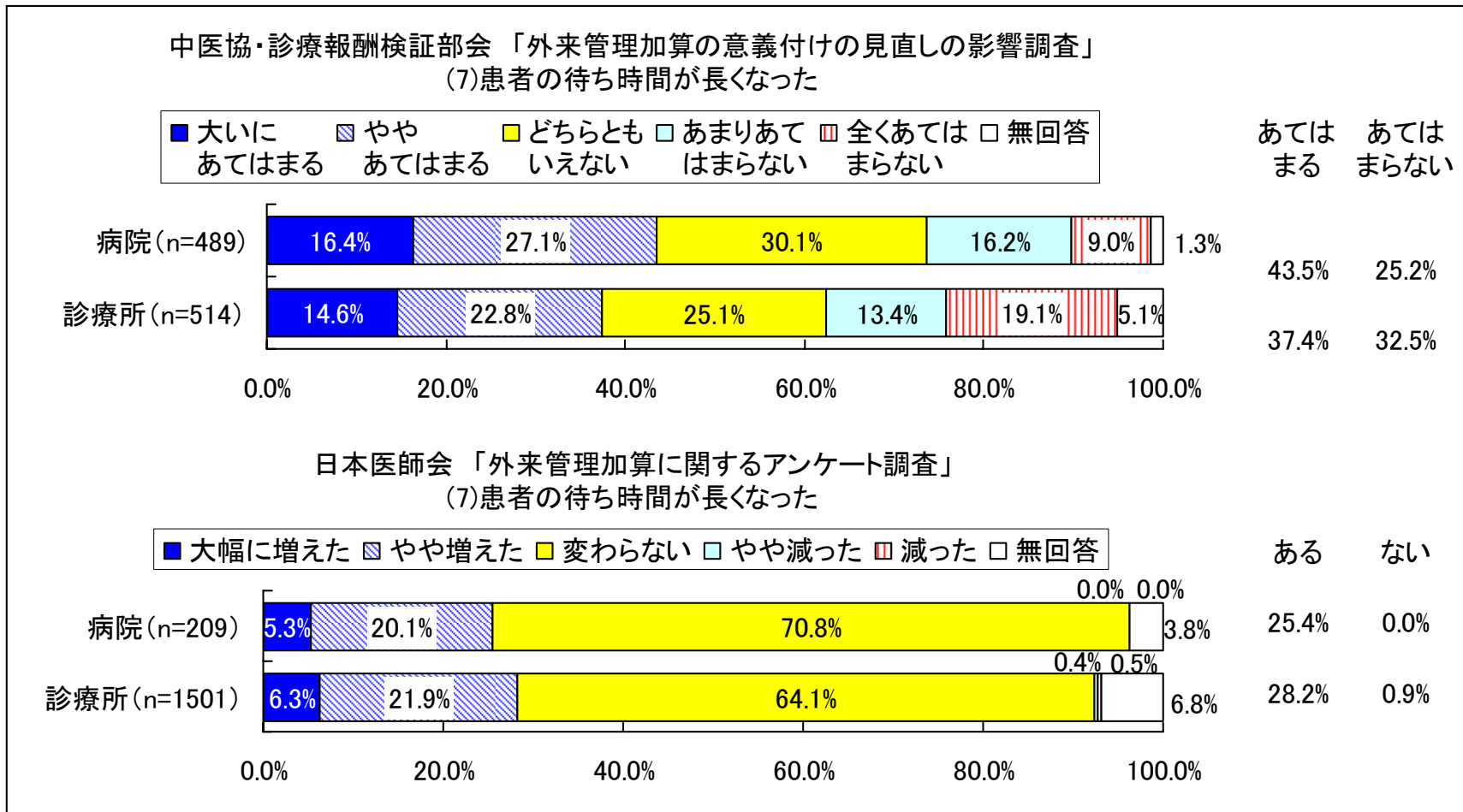
中医協・検証部会調査、日本医師会調査のいずれも、診察時間が長引くという回答が、病院で4割以上、診療所で3割以上あった。特に中医協調査では、「あてはまる」が「あてはまらない」を上回っており、診察時間への影響が示唆された。



日本医師会調査では「ない」も6割近くあった。以前から時間をかけて診察していたとも考えられる。

## 待ち時間

中医協・検証部会調査も、日本医師会調査も、「待ち時間が長くなった」という回答のほ  
うが多く、その点では、患者の負担増になっていることがうかがえた。





## 時間の計測上の負担

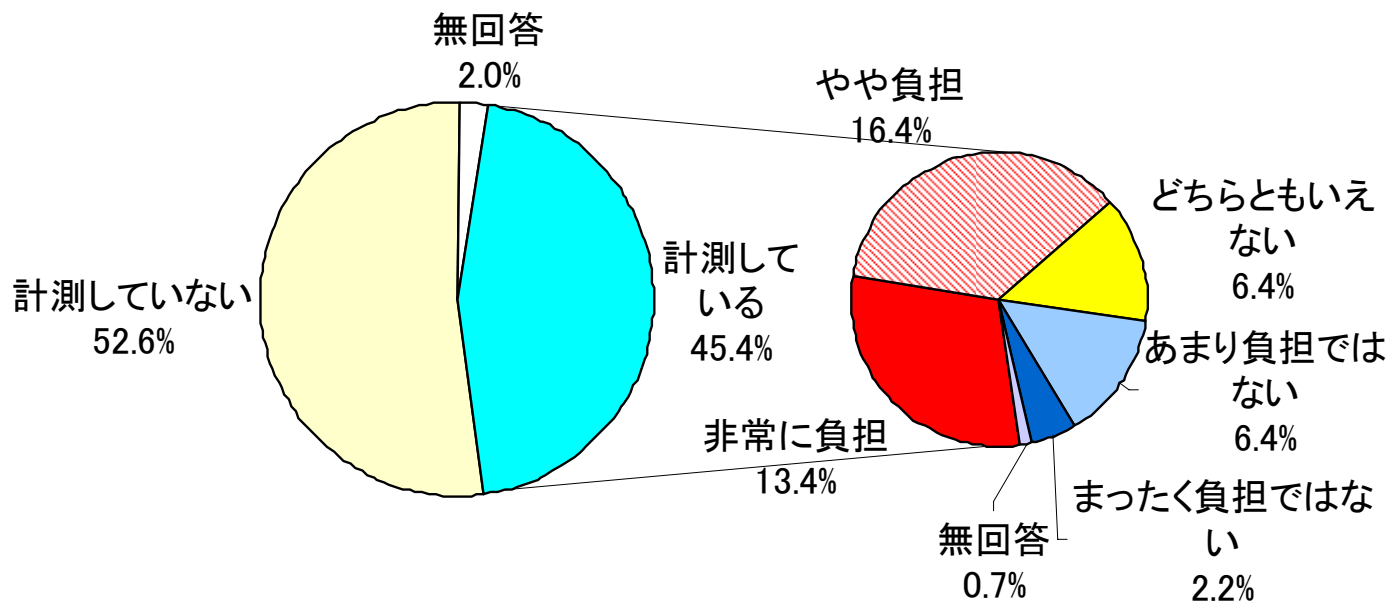
以上のように、診察時間や待ち時間が長くなるという傾向がうかがえた反面、患者の満足度等は時間(算定あり・なし)には影響されていなかった。

しかし、医師は時間の計測に大きな負担を感じている。日本医師会調査では、時間の計測が負担になっていると回答した医療機関が29.8%(非常に負担13.4%、やや負担16.4%)あり、診察の妨げになっていることも懸念される。

日本医師会「外来管理加算に関するアンケート調査」(n=1779)

(問7)時間の計測

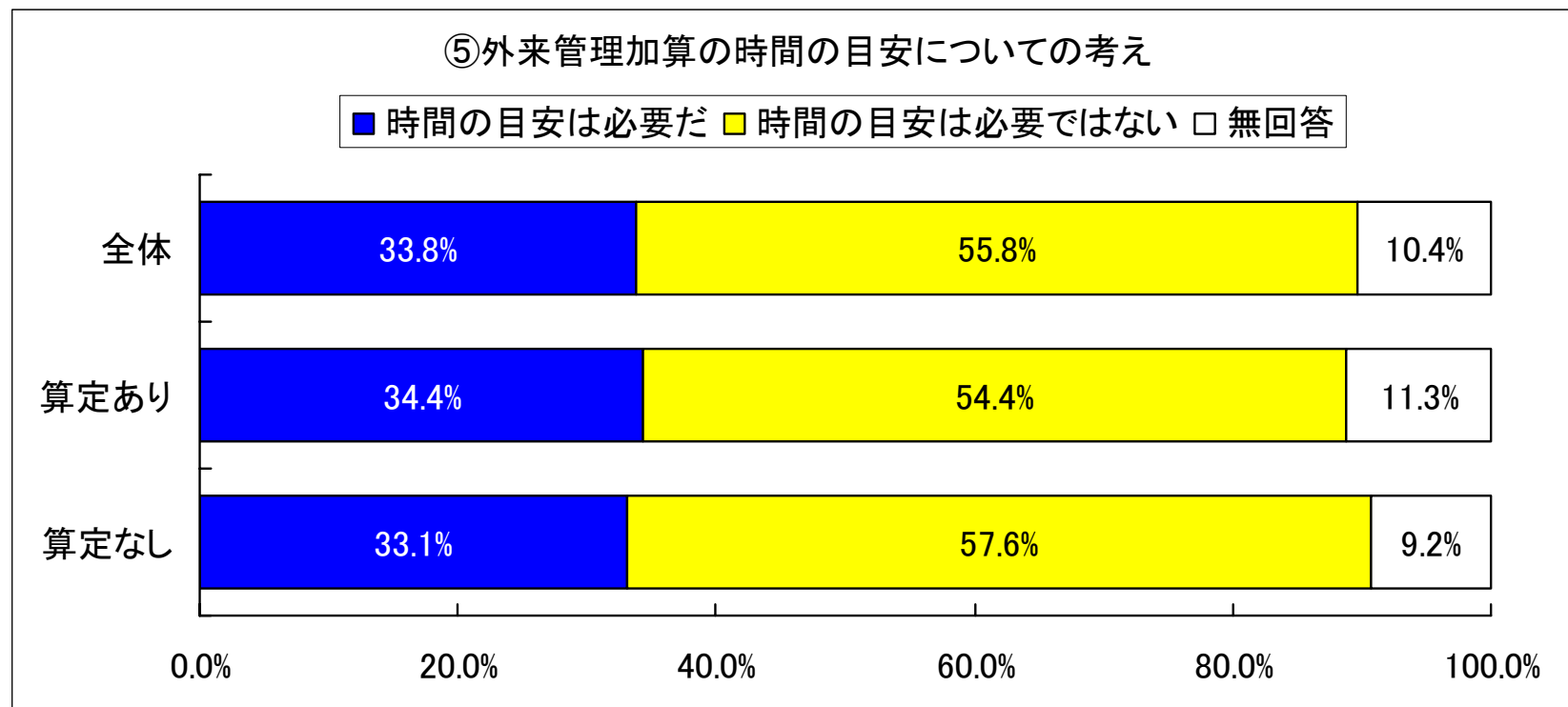
(問8)時間の計測上の負担



## 患者調査 時間の目安について

患者の6割近くは「時間の目安は必要ではない」と回答している。「算定あり」の患者も5割以上は、時間の目安を求めていなかった。

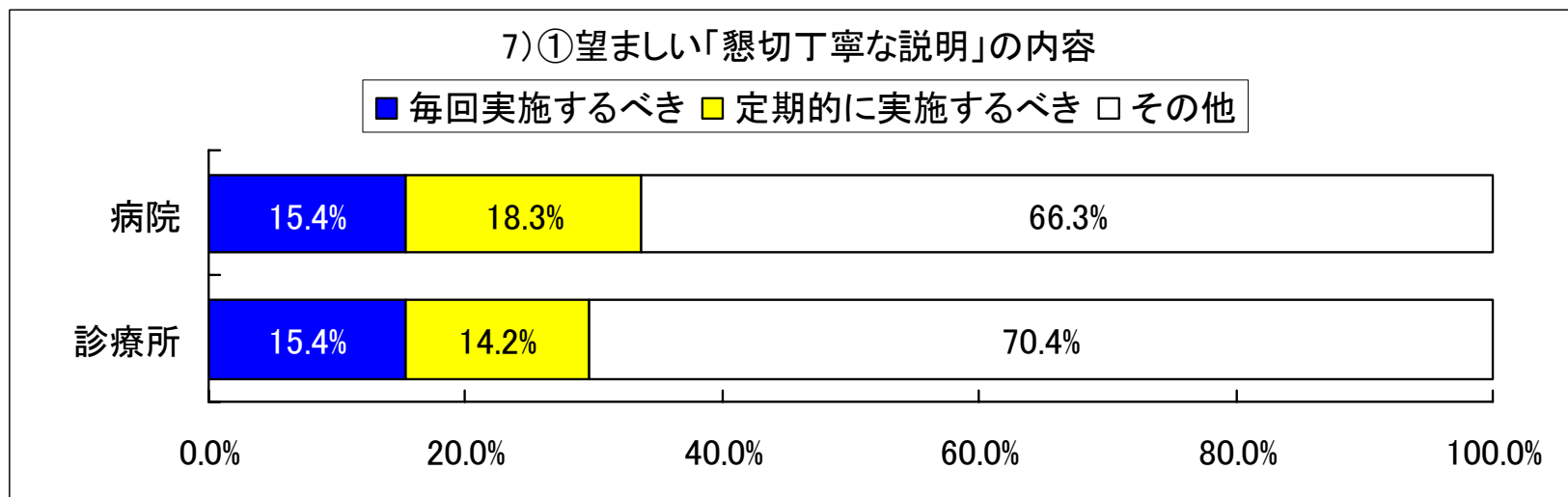
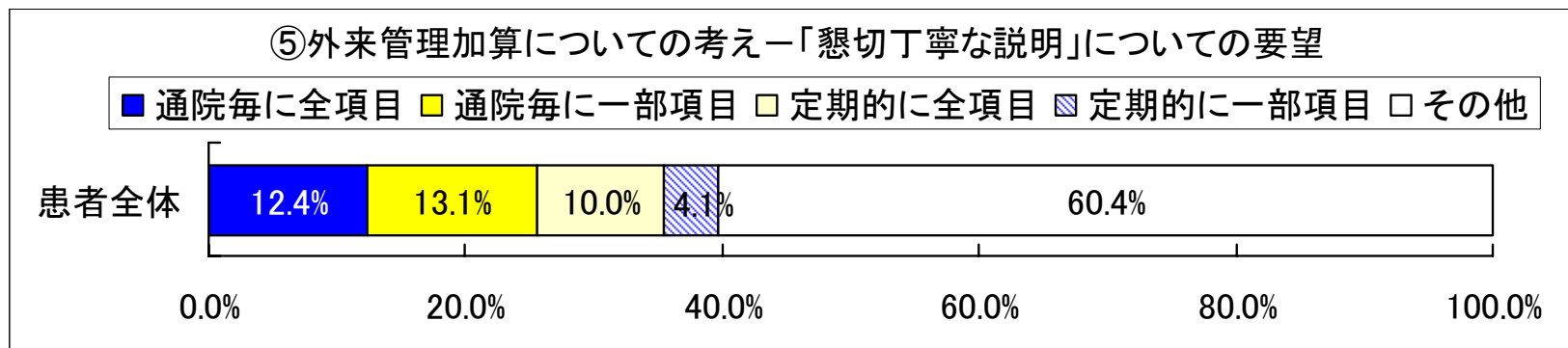
### 中医協・診療報酬検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」患者調査



## 懇切丁寧な説明

通院ごとに全項目について懇切丁寧な説明をすべきであるという患者は1割強に止まった。また病院・診療所ともに、毎回実施すべきという回答は15.4%(1割強)であった

中医協・診療報酬改定結果検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」



## 外来管理加算の算定割合

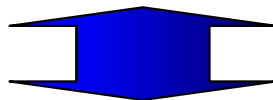
中医協・検証部会調査によると、外来管理加算の算定割合は診療所41.0%、病院41.1%である。ここから推計すると、「外来管理加算の算定回数の増減率は診療所で▲26.3%、病院で▲29.4%と推計された。日本医師会調査でも診療所は▲24.3%であり、ほぼ同じであった。

### 外来管理加算算定回数の増減

中医協・検証部会調査から計算

(万回)

		診療所	病院	
2007年 (平成19年)	再診料	7,867	1,388	「平成19年 社会医療 診療行為別調査」
	電話等による場合	12	1	
	再診料	7,878	1,389	
	外来管理加算	3,007	509	
	老人外来管理加算	1,379	300	
	外来管理加算	4,386	809	
	算定割合 ①	55.7%	58.2%	
2008年 (平成20年)	外来管理加算算定割合 ②	41.0%	41.1%	「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」p10
	外来管理加算算定回数の増減	-26.3%	-29.4%	



日本医師会調査

	診療所	病院	
外来管理加算算定回数の増減(7~9月調査)	-24.3%	-14.9%	病院はN=55のため参考値

## 診療所への影響額

外来管理加算の算定回数の増減率から影響額を試算すると、診療所については、日本医師会調査で▲748億円、中医協・検証部会調査で▲804億円であった。

### 診療所 外来管理加算見直しの影響－粗い試算(年換算)－

日本医師会「外来管理加算に関するアンケート調査」N=226

(億円)

	2007年度の金額* <sup>1)</sup>	算定回数増減率	算定回数減少後の金額	診療報酬		報酬引き下げ後の金額	影響額
					増減率		
	①	②	③=①×(1+②)		④	⑤=③×④	⑤-①
一般	1,876		1,420	52→52点	100.0%	1,420	
後期高齢者	943	-24.3%	714	57→52点	91.2%	651	
計	2,819	—	2,134	—	—	2,071	▲ 748

中医協・診療報酬改定検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」N=512

(億円)

	2007年度の金額* <sup>1)</sup>	算定回数増減率	算定回数減少後の金額	診療報酬		報酬引き下げ後の金額	影響額
					増減率		
	①	②	③=①×(1+②)		④	⑤=③×④	⑤-①
一般	1,876		1,382	52→52点	100.0%	1,382	
後期高齢者	943	-26.3%	695	57→52点	91.2%	634	
計	2,819	—	2,077	—	—	2,016	▲ 804

\*1)厚生労働省「平成19年社会医療診療行為別調査」より、「調査月(6月)の点数×10×12か月」。またこの時点では、「後期高齢者」は「老人」。

\*四捨五入差があり、計算結果が一致しないところがある。

社団法人 日本医師会(定例記者会見 2009年4月22日)

## 病院への影響額

病院については、日本医師会調査では▲57億円、中医協・検証部会調査では▲131億円であった。ただし日本医師会調査は客体数が少ないため、参考値として示す。

### 病院 外来管理加算見直しの影響－粗い試算(年換算)－

日本医師会「外来管理加算に関するアンケート調査」N=55

(億円)

	2007年度の金額* <sup>1)</sup> ①	算定回数増減率 ②	算定回数減少後の金額 ③=①×(1+②)	診療報酬		報酬引き下げ後の金額 ⑤=③×④	影響額 ⑤-①
					増減率 ④		
一般	317	-14.9%	270	52→52点	100.0%	270	
後期高齢者	169		144	47→52点	110.6%	159	
計	487	—	414	—	—	430	▲ 57

中医協・診療報酬改定検証部会「外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査」N=313

(億円)

	2007年度の金額* <sup>1)</sup> ①	算定回数増減率 ②	算定回数減少後の金額 ③=①×(1+②)	診療報酬		報酬引き下げ後の金額 ⑤=③×④	影響額 ⑤-①
					増減率 ④		
一般	317	-29.4%	224	52→52点	100.0%	224	
後期高齢者	169		119	47→52点	110.6%	132	
計	487	—	343	—	—	356	▲ 131

\*1)厚生労働省「平成19年社会医療診療行為別調査」より、「調査月(6月)の点数×10×12か月」。またこの時点では、「後期高齢者」は「老人」。

\*四捨五入差があり、計算結果が一致しないところがある。

# まとめ

## 医療機関の対応

詳細な身体診察や丁寧な説明が行うようになったとの回答もあるが、その比率はきわめて高いわけではない。以前から、詳細な診察等が行われていたためと推察される。

## 患者の評価

診療内容への満足度は「算定あり・なし」で違いはなかった。また「算定あり」の患者が、4月以降、診療内容の変化を実感しているわけでもなかった。むしろ、以前から、医師が丁寧な診察や説明を行っていることを裏付ける結果が見られた。

## 時間について

どちらかという診察時間、待ち時間は長くなる傾向にあった。医師の約3割が診察時間の計測を負担に感ずる一方、患者の6割は時間の目安は必要ないと考えていた。

## 懇切丁寧な説明等

通院ごとに全項目について懇切丁寧な説明をすべきであるという患者は1割強に止まった。

## 診療報酬上の影響額

当初診療所への影響額は▲240億円と予定されていたが、中医協・検証部会調査から試算したところ▲804億円、日本医師会調査からの試算でも▲748億円であった。

# 日本医師会の主張

「外来管理加算」算定あり・なし、すなわち5分以上か5分未満かで、患者に診察上の好影響はみられなかった。むしろ、診察時間や待ち時間の延長で、患者に負担をかけている可能性もあり、時間の計測が診察の妨げになっている懸念もある。

一方、以前から丁寧な診察や説明が行われていたことが確認できた。

これ以上、「5分」という時間の区切りにこだわれば、診察にさらに弊害が出たり、患者・医師の信頼が損なわれる。「5分」という時間の区切りについて、これを撤廃することを求める。